

平成23年度 第1回 地盤工学表記法委員会
WG1&WG2合同
議事録

日 時	平成23年6月8日（水）15：00～17:00					場 所	3F中会議室		
委員長兼 WG1リーダー	岸田 隆夫	○	委員兼 幹事	伊貝 聡司	○				
委員兼WG1	鈴木 直子	○	委員兼WG1	石井 建樹	×	委員兼WG1	杉本 隆	○	
委員兼WG1	福岡 秀基	○	委員兼WG1	谷 和夫	○	委員兼WG1	大熊 英二	○	
委員兼 WG2リーダー	鈴木 明夫	○	委員兼WG2	久保 裕一	○	委員兼WG2	千葉 久志	○	

(○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定)

議 題：

1. 前回議事録の確認（資料-23.1.1）

- ・原案どおり承認された。

2. 基準部会報告（資料-23.1.2）

- ・地盤工学用語の規格作成WGの設立が承認された。
- ・基準部関連原稿執筆要領について了承が得られ、理事会でも報告された。
- ・基準部以外への働きかけとして、学会誌の執筆要領について改訂案を作成し、会誌部へ提供する方針とする。

⇒ 岸田委員長が改訂案を作成し、次回委員会で議論することとする。

- ・レキシコン日英対訳の電子版について、国際部へ提出されたことが報告された。今後の対応は、国際部からの要請に応じ実施するが、対訳のチェックは、引き続き対応を行うこととする。

⇒ 谷委員がチェックを行い、結果を次回委員会に報告することとする。

3. 地盤工学表記法委員会の検討項目（資料-23.1.3）

- ・検討項目について、地盤工学用語のJ I S化を追加する。
- ・データシートの作業は、シートの管理と販売したプログラムのメンテナンスに大きく分かれている。問い合わせへの対応、規格・基準改訂に伴うデータシートのチェック等を実施しているが、規格・基準の解説でデータシート例が記載されない、データシートが不統一になりつつあるという課題がある。データシートの実態と長期の方向性について本委員会で議論することとする。

⇒ WG2で実態、方向性について整理し、次回委員会より議論を開始する。

- ・検討項目のうち、LEXICONの用語の日英対訳と標準用語の整合がとれていない、標準記号が見直し時期を迎えているなどの課題がある。時期、担当を決めて作業を開始する必要がある。

⇒ 今年度の作業について、次回委員会で議論することとする。

